

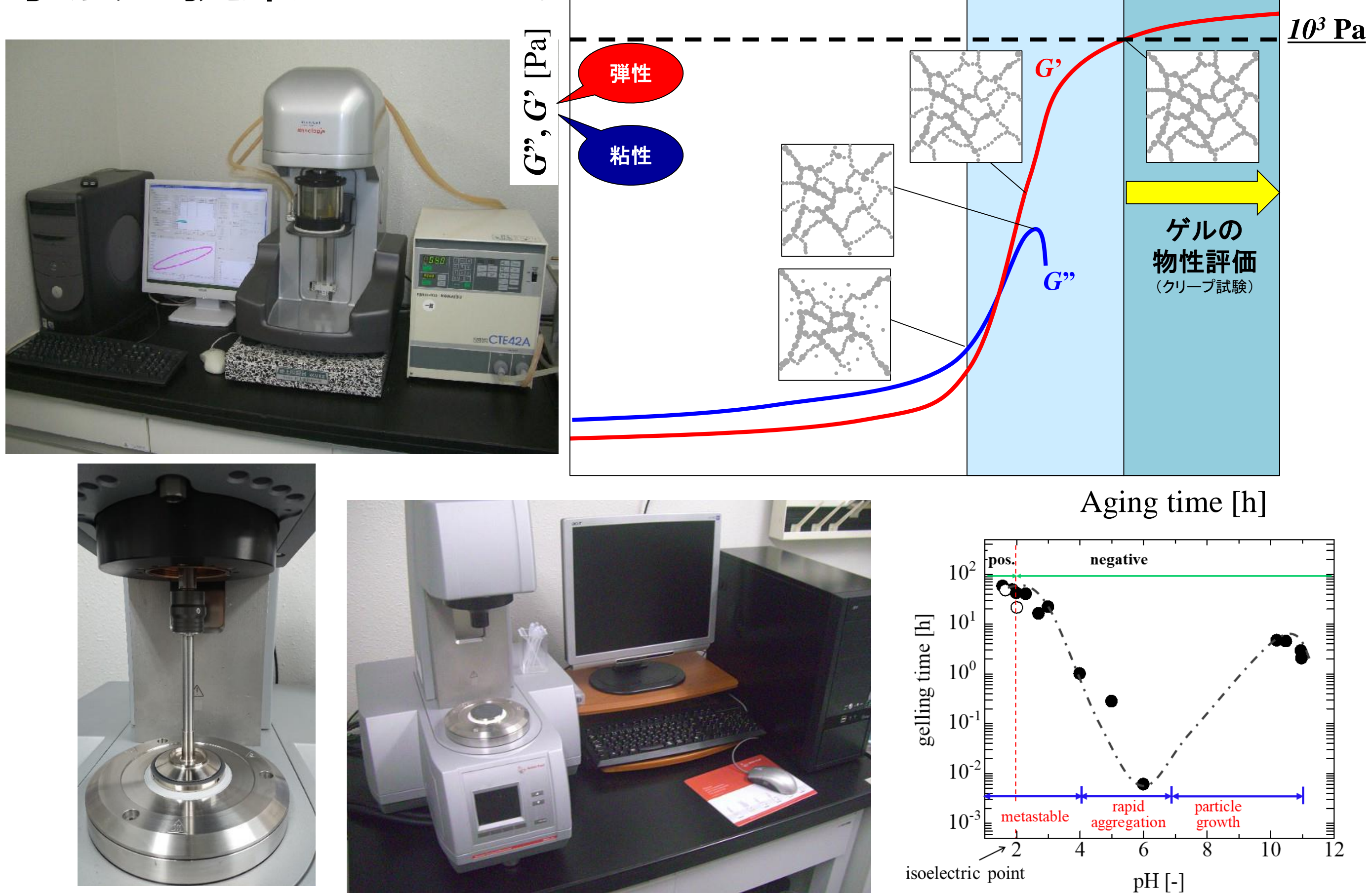
複雑流体の特性評価とその応用に関する研究 “Characterization and application of complex fluids”

■ 研究シーズ詳細

● トピック1

「ゾル-ゲル転移挙動の評価手法」

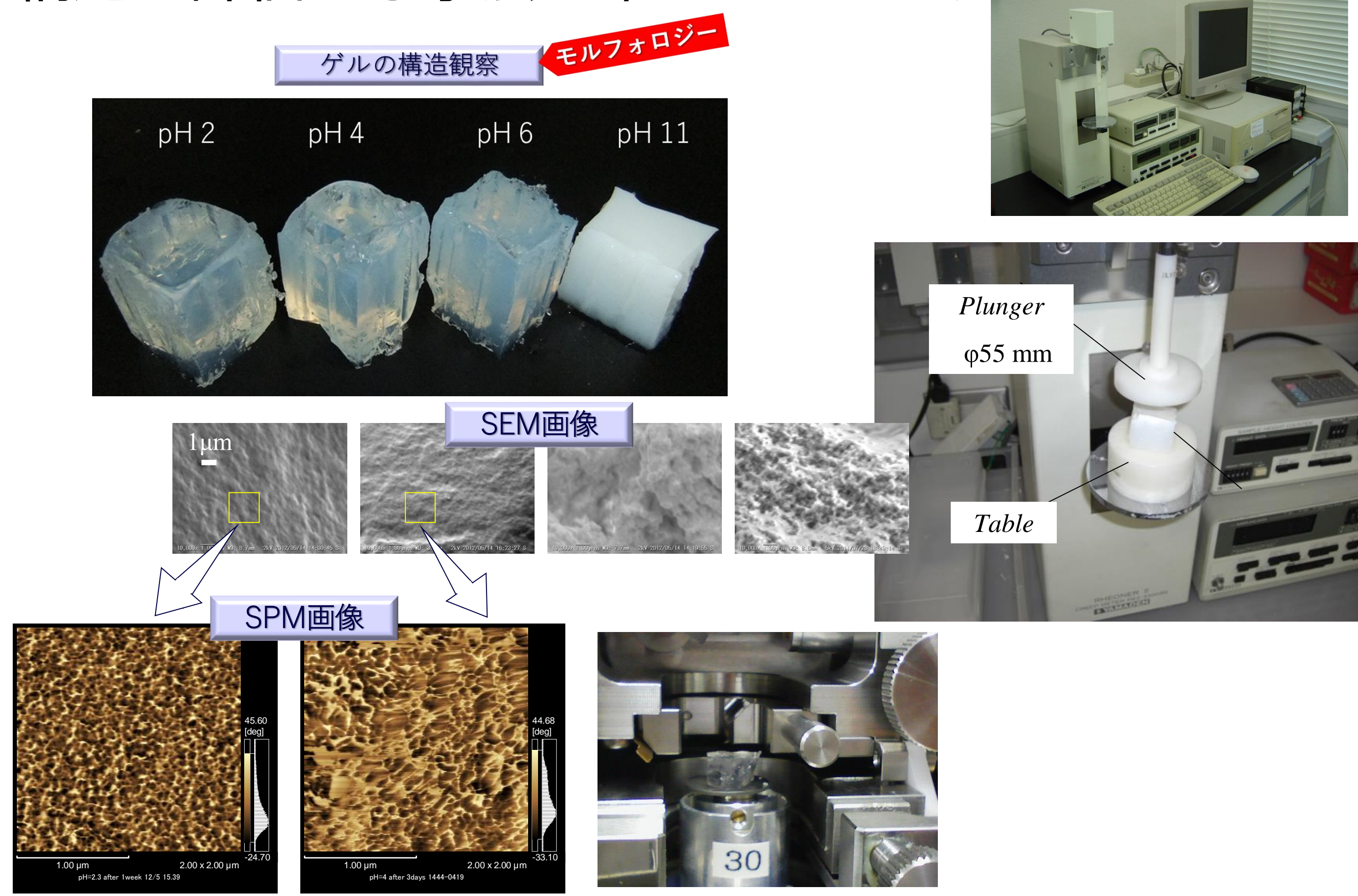
シリカゾルのゲル転移を動的粘弾性の時間依存性として評価することで、ゲル化を定量的にとらえる手法を提案しました。



● トピック2

「固体、固体表面の粘弾性評価手法」

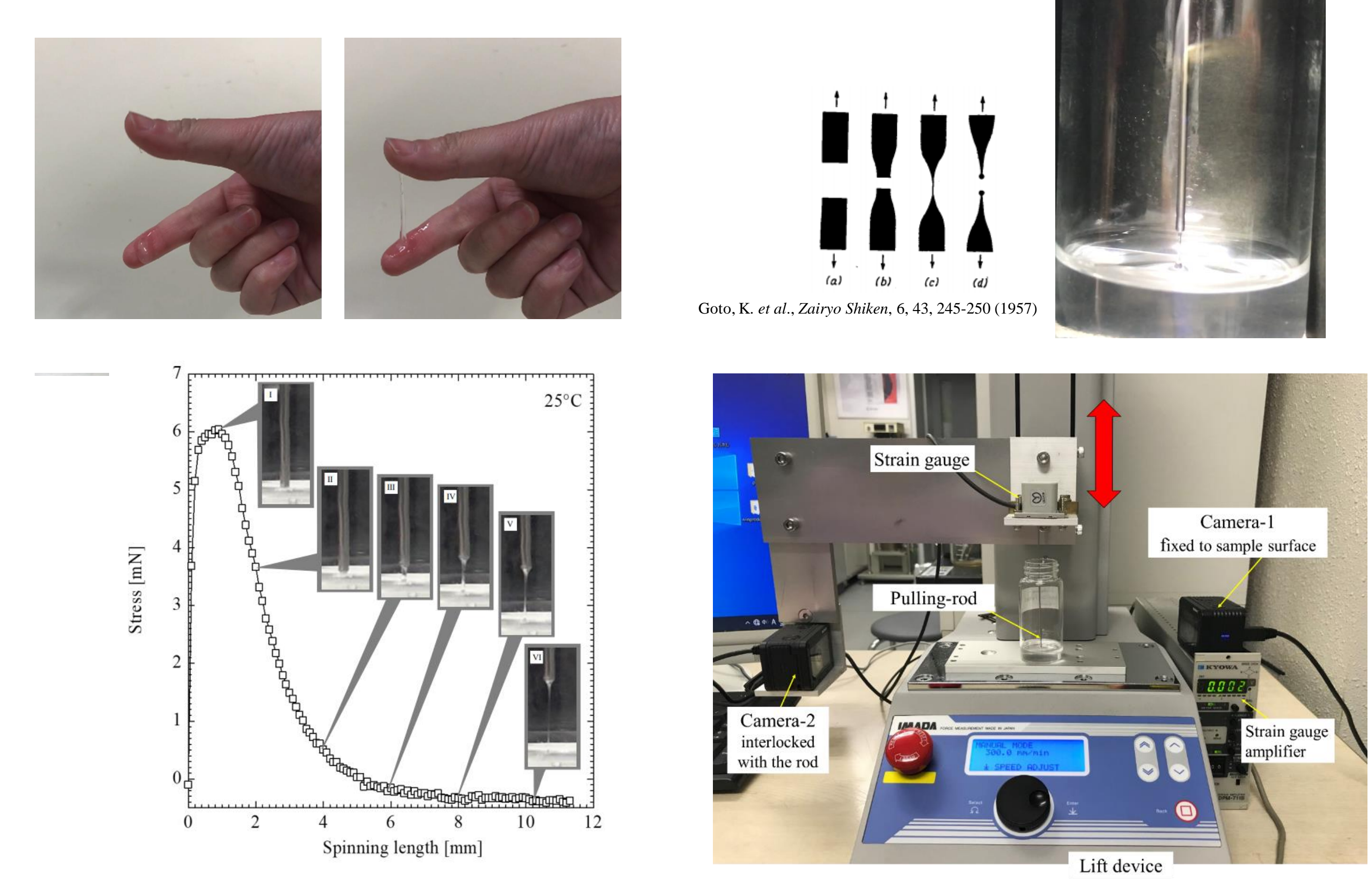
固体化した試料のバルクとしての粘弾性を評価する。また、表面のかたさから粒子のネットワーク構造を評価する手法を確立しました。



● トピック3

「複雑流体の糸曳き挙動の評価手法の開発」

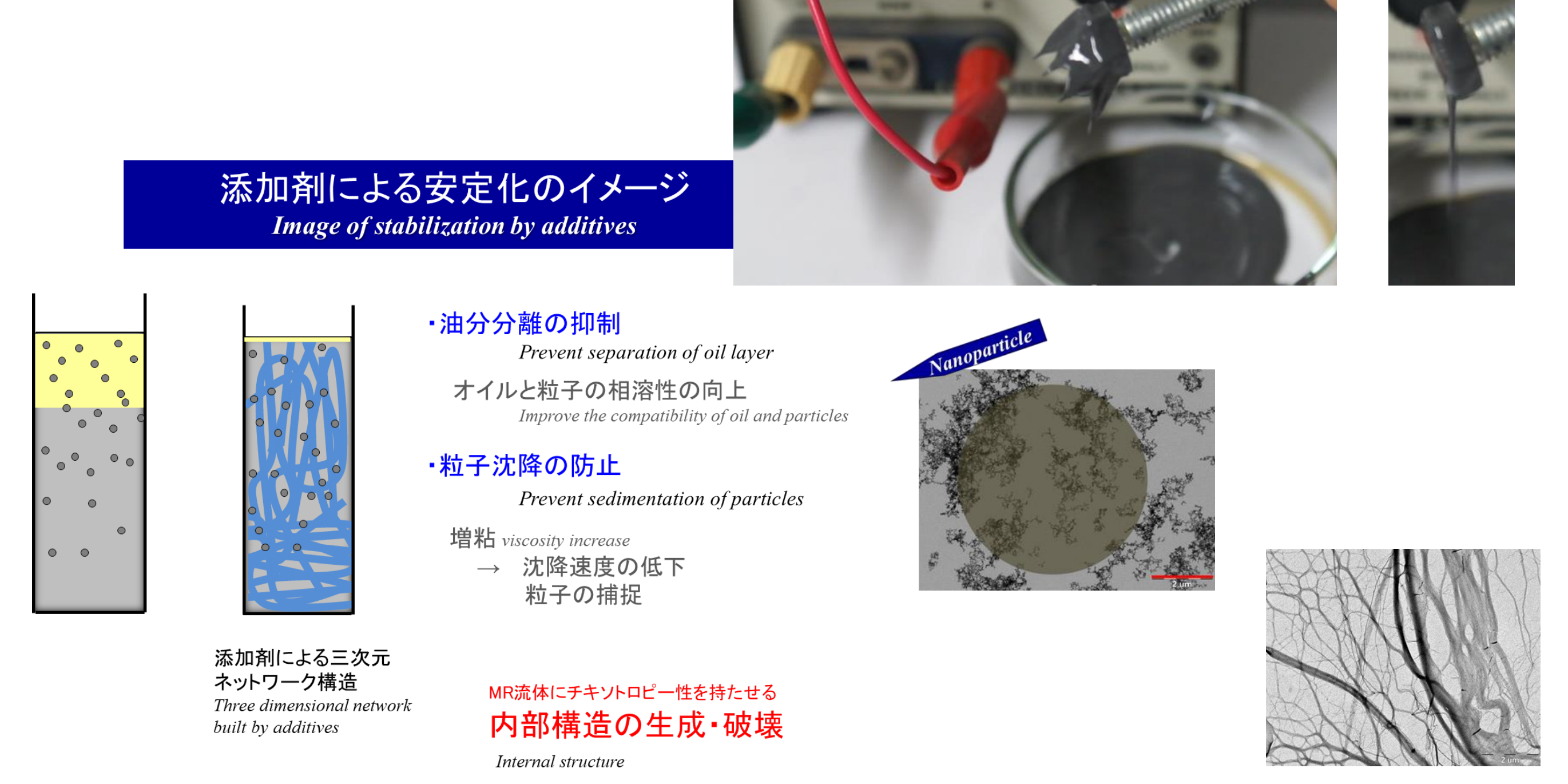
毎回、同じ化合物をつくっているつもりでも、同じものができない。その特性のひとつである糸曳きに注目した研究を行っています。



● トピック4

「粒子の沈降安定性に関する研究」

高濃度粒子分散系（スラリー）において、感覚的に「クリーミー」であるものは扱いやすい。クリーミーとは、扱いやすいとは、という問題を定量的に評価する方法を提案し、商品化や品質管理にむすびつける技術を開発しています。



■ 研究関連キーワード

粘度、粘弾性、糸曳き、粒子分散系